

- ・Windows タブレット
- ・まなびポケット
- ・SKY MENU Cloud (ポジショニング)

<単元・題材名等>

持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方

ねらい

自分にあったものを買うために、どのようなことに気を付けて選べばよいのかを考える活動を通して、個人によって選び方が違うことに気付き、自分の消費生活をよりよくするために、物の選び方を理解することができる。

主なICTの活用方法

- ・協働学習支援ツール (SKYMENU) のポジショニング機能を使って、自分の考え、仲間の考えを可視化する。
- ・協働学習支援ツール (SKYMENU) で、考えを共有し一覧提示する。交流の際は、それぞれの考えを閲覧しあう。

ICT通じて育成する資質・能力

- ・自分の考えを根拠を示して提示することで、考えを整理するとともに、相手に分かりやすく伝えることができる。
- ・自分と仲間の考えを比較、分類しながら整理することで、仲間と意見を交流することができる。

実践の概要

家庭科C消費生活・環境の「持続可能な暮らしへ 物やお金の使い方」の題材である。

授業前に、「買うものを選ぶ時に大事にしているポイント」についてアンケートを行った。導入ではその結果を提示するとともに、買い物の際に気を付けたいことについて SKYMENU のポジショニング機能を使って、記入・提示する。実際に筆箱を購入する際に気を付けることについて、プリントに記入した自分の考えをタブレット端末で撮影し、SKYMENU で共有する。大型提示装置に提示された仲間の買い物の際の注意点をもとに、自分と同じ考え、異なる考えの仲間と交流をすることを通して、「買い物の目的を明確にすること」「品質、大きさ、機能、分量、価格などの情報を整理すること」の大切さに気付き、物を購入するときに気を付けることについて理解していく。

児童の学びの様子

- ポジショニング機能によって、仲間の考えが分かり、学級全体の傾向を把握することができた。これは、その後の交流の際に、仲間の考えの傾向をつかむことに役立ち、同じ考え、異なる考えの仲間を把握したうえで交流することができた。
- 自分の考えをプリントに記入したあと、タブレット端末で撮影し、SKYMENU で共有した。児童たちは保存した直後から、仲間の考えを自由に閲覧し、参考になったことや仲間の考えから発見した新たな考えをプリントに追記することができた。これは、自らの考えの変容を示すことであり、自らの学習を調整した根拠として記録することもできる。



指導のポイント

- 協働学習支援ツールを使用することで、情報を同時に複数の端末で共有することができ、仲間の考えを閲覧したり、仲間の考えから学んだりすることができ、情報活用力の育成に効果的である。
- ポジショニング機能や端末の一覧提示などを使うことで、仲間の考えを俯瞰して把握することができ、学級全体の傾向や個の考えの変容をつかむことに効果的に活用できる。